

ヨコハマ市民まち普請事業 平成30年度整備施設 100段階プロジェクト「100段階 のぼり初め式」 4月7日（日）お披露目会開催！



「ヨコハマ市民まち普請事業」において、平成30年度整備提案に選考されました「100段階プロジェクト」による整備が完成しましたので、「100段階 のぼり初め式」と題してお披露目のセレモニーを開催します。

地域の皆さまが協力して完成した「100段階」を、是非ご覧ください。

「ヨコハマ市民まち普請事業」：市民が地域の課題解決や魅力向上を図るために整備する施設への整備費の助成事業。二段階の公開コンテストで選考された提案に対して、次年度に最大500万円の整備助成金を交付します。

のぼり初め式の概要

■日時

平成31年4月7日（日）

11時～ オープニングセレモニー

12時～ まち歩きツアー

「たまプラ遺産」などを巡ります

13時～ お花見（100段階にて）

写真展も同時開催！

■場所

100段階（美しが丘小学校正門下）
（青葉区美しが丘2-33）

※雨天の場合は、中部自治会館
（青葉区美しが丘1-23-8）にて行います

※参加無料、事前申込不要

【取材の際は、直接、会場へお越しください。】

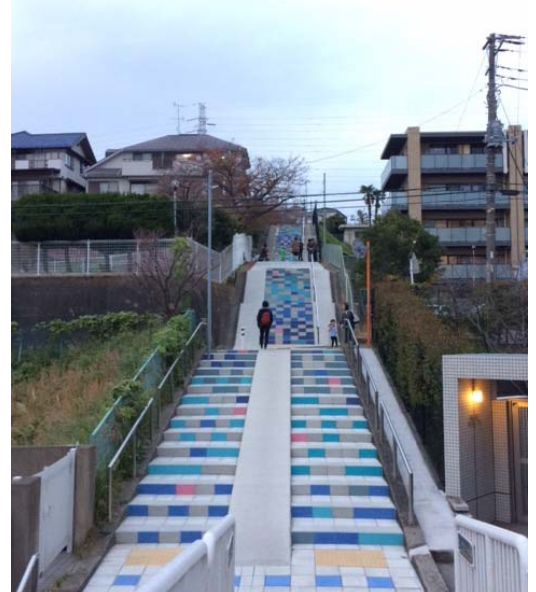


「100段階プロジェクト」とは？

美しが丘中部自治会アセス委員会遊歩道ワーキンググループが、美しが丘地区の遊歩道再整備の一環として進めてきたこのプロジェクトは、街の象徴として美しが丘小学校下に位置する百段階から名付けられました。

美しが丘は名前の通り「丘」の街であり、開発当時から「歩くための街」として造られてきました。駅から住宅街へと続く遊歩道や歩道橋、ユリノキの並木のグリーンベルトは、この街の地域資産となっています。

しかし、場所によって傷んでデコボコになり、歩くと危険な箇所もあります。このプロジェクトは、百段階と遊歩道の整備を進めるなかで、歩きやすい道を増やし、より多くの人が歩くことできれいな状態を維持するという新しい循環を生み出します。



裏面あり

整備内容

① 100段階段のカラーリング

② 「たまプラ遺産」の認定プレート、100段階段の「標高プレート」の製作・設置

美しが丘の名所を「たまプラ遺産」と銘打ち、認定プレートを製作し現地に表示するとともに、当該情報を含む「標高プレート」を100段階段の同じ標高位置に整備しました。

③ 階段下に照明とベンチ、MAPを整備

暗く雑草が生い茂っていた階段下の空間に、防犯対策の照明や歩行者が座って憩えるベンチを設置しました。また、「たまプラ遺産」MAPを整備し、人々がまちを歩ききっかけを生む空間になりました。



▲階段下の様子



▲階段上の様子



▲たまプラ遺産プレート

整備のポイント

① 100段階段のカラーリングデザインを募集

地域と小学校にアンケートを行い、カラーリングのアイデアを募集しました。

② カラーリングワークショップを開催

地域住民と子どもたちからサポーターを募り、4回にわたってワークショップを行いました。

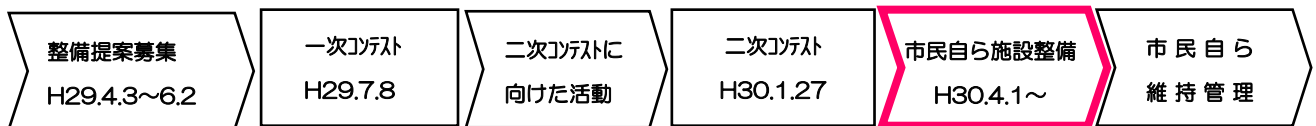
谷戸の記憶から水の色、ユリノキ並木の緑色、そして桜のピンクと、美しが丘の街を象徴するカラーで彩られています。

塗る場所を参加者同士で相談しあいながら、自然とコミュニケーションが生まれていました。

ワークショップの様子➡



(参考) 事業の流れ ※本提案を選考した29年度



30万円を限度に活動助成金を交付
※専門家の紹介を希望するグループにまちづくりコーディネーター等を紹介
※話し合いの場に市職員が同席し、アドバイスを行う等の支援

50万円～500万円の整備助成金を交付
(申請金額によります)
※対象経費は、設計費、工事費、工事監理費、活動経費となります

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 甲斐 泰夫 Tel 045-671-2665